



もはや
崩壊!

JR東日本・グループ会社の 安全意識!

7月に入り、5件の異常事態!

※JTSU 調査

7月 5日(水) 宇都宮線・尾久駅

作業員へ入換車両が**気笛吹鳴、非常停車**

7月 8日(土) 埼京線・池袋駅

線路内拾得物作業時に接近してきた列車から**気笛吹鳴、非常停車**

7月20日(木) 山手線・五反田駅

線路内拾得物作業時に接近してきた列車から**気笛吹鳴、非常停車**

同じ事象が
繰り返し発生!

7月21日(金) 山手線・田町駅～浜松町間

線路内にしゃがんでいる作業員を
認めて**気笛吹鳴、非常停車**

7月24日(月) 東海道線・品川～川崎間

線路内に作業員がいたため**非常停車**



7月24日、JR東日本の首都圏で働く社員に向けて“夏季輸送期間における「安全」の確保について”という書面が出されました。その中では「安全」を造り続け、その基盤の上に安定した輸送と品質の高いサービスを載せ続けること、「安全」に関する作業実態がルールと乖離していないか、また決められたことがしっかりと守られているかを確認し、再発防止に努めると述べられています。しかし、**会社経営陣が夏季輸送の激励と称した職場訪問での訓示は「稼がなければ設備投資も賃金も上がらない」と「稼ぐ」ことが鼓舞されていると現場で働く仲間の声が寄せられています。**

「なぜ作業実態がルールと乖離してしまうのか?」「なぜ決められたことが守られていないのか?」など、事故や事象が発生する根本的な原因を突き止めて対策を講じない限り、小手先の対策で乗り切ろうとする会社の姿勢では、事故や事象は無くなりません!

「いのち」を守るために!

これらの事故・事象を教訓に、JR東日本・グループ会社で働く仲間が
「安全最優先で働ける環境はどうあるべきか」を考えよう!

「いのち」を脅かす事象が続発!